

敵国人抑留所を語り継ぐ集い

～知られざる敵国民間人抑留所が、足柄にもあった～

神奈川第 1 抑留所を語り継ぐ会（代表：出羽仁 横浜市在住）は、**2025 年 6 月 1 4 日（土）13 時から南足柄市内山 2 5 8 6、旧北足柄中学校（通称北中。抑留所跡地）**において第 5 回「**敵国人抑留所を語り継ぐ集い**」（正式名：神奈川第 1 抑留所を語り継ぐ集い）を開催します。

アジア・太平洋戦争中、日本に敵国民間人の抑留所があったこと自体、あまり知られていません。1941 年 12 月の太平洋戦争開戦日、日本に居た連合国側の国籍を持つ民間人は突然囚われ、全国各地に設けられた 34 か所の抑留所に収容されました。全国で 340 人余り、神奈川県では 90 人を超える「敵国人」が拘束されました。

1943 年、戦況が厳しくなると、横浜市中区根岸台にあった神奈川第 1 抑留所は、足柄上郡北足柄村、現在の南足柄市内山に移動します。北足柄中学校があった場所です。内山の抑留所には最終的に 50 人程が残りました。抑留者たちは警察の厳しい監視下で日々の生活を送ります。山仕事をしたり、地元の農家の手伝いをするなど、地域の人々との交流もあったようです。一方、戦時下の食料事情が厳しくなる中、満足な医療を受けられずに命を落とした人もいます。旧校舎の裏側に、抑留所で亡くなった外国人の墓が今も残っており、墓碑がたっています。

戦後 80 年となる今年も、実際に抑留所があったその場所で、皆様と共に、忘れてはいけない歴史を知り、二度と起こってはならない「戦争」について考え、語り継ぎたいと思います。また社会のグローバル化が進む現在、人は国籍など自身のアイデンティティとどう向き合うのか、多様性に対応すべきかを意識することも大切ではないかと考えます。

なお、今回はジュリア・ロングボトム駐日英国大使も出席される予定です。

<語り継ぐ集い概要>

- 場 所：南足柄市内山 2 5 8 6 旧北足柄中学校跡 元校舎 2 階
併設：「CAMPiece(キャンピース)南足柄」
- 時 間：2025 年 6 月 1 4 日(土) 13 時～15 時 30 分(予定)
- 内 容：*戦時下の敵国人抑留について 小宮まゆみ（研究者）
*地元の「劇団ぼぼ」による紙芝居上演
*『わが失われし日本』日本を愛した抑留者ロバート・クラウドについて 棚野泰全
*質疑応答
*校舎裏手にある墓碑への供花
- 参加費用：高校生以上は 1 人 300 円（資料代等）
- 定 員：先着 70 人程度
- 問合せ・連絡先
* 出羽 仁（デワヒトシ） 090-4818-7436 dewa1728@ybb.ne.jp

・ご参加の申し込みは 6 月 1 2 日までをお願いいたします。（ご取材は当日まで可）

<参考>

＊ロバート・クラウド：1911―2010。アメリカイリノイ州出身。旧制第五高等学校～五高～（現熊本大学）最後の米国人教師として日米友好を実践。第二のラフカディオ・ハーンとも言われた。熊本で拘束された後横浜に移送され、内山に。抑留中に交換船で帰国。日本画家でもあり、実業家。

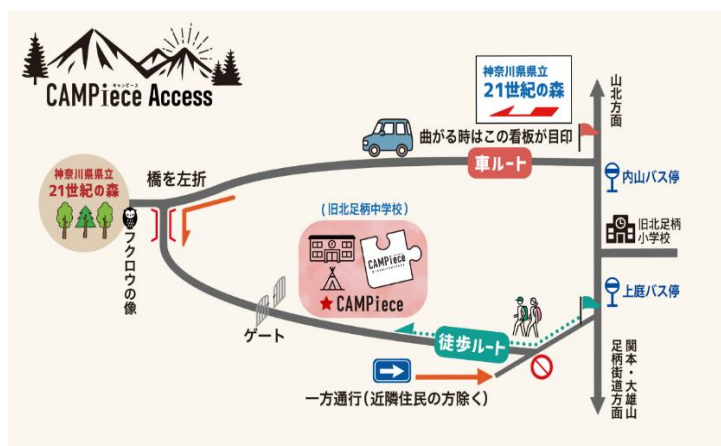
著書に「わが失われし日本」（葦書房）

＊1941（昭和16）年12月8日、日本軍がハワイ真珠湾を攻撃したその日以降、連合国側の国籍を持つ、民間人男性は突然拘束され自由を奪われます。全国で340人余り、神奈川県では横浜の2か所の抑留所に全国で最多の90人を超える敵国民間人が拘束されました。その後、交換船（交戦国が、互いに外交官や在留民間人を交換するために派遣した船）により、一部の外国人は帰国しました。しかし、新たに海外から連行された外国民間人や、国内で活動していた宣教師などの女性も抑留対象にされ、終戦までの間に日本で抑留された外国人は延べ1200人にのぼりました。

＊北足柄中学校跡地は、戦前カトリック修道会マリア会が設立した山荘があり、暁星中学校の夏季施設（フランス人が経営）として使用されていました。戦時中は神奈川県の所有となり、1943年（昭和18年）6月、横浜の神奈川第1抑留所が移転してきました。そこには警察の監視のもと、アメリカ、イギリス、カナダなど連合国側の国籍を持つ成年男性53名の民間人が抑留されていました。後に3名が交換船で帰国するなど49名となりますが、5名が抑留中に死亡（うち2名が現地で死亡）。これは全国の抑留所の中でも非常に高い死亡率で、内山での抑留生活は厳しかったと想像されます。終戦で外国人たちはようやく解放され、帰国または国内の居住地に帰りました。

＊1947年（昭和22年）学校教育法施行により、北足柄中学校が北足柄村内山745（当時）に設立され、その翌年内山2586の「三本松」（現在の場所）に移転しました。抑留所として使われていた建物2棟も1958年（昭和33年）まで学校施設として使われました。同校は、2010年（平成22年）に閉校し、現在はキャンプ場「CAMPiece（キャンピース）南足柄」として民間会社が運営しています。

<旧北足柄中学校跡地へのアクセス>



＊車の場合

東名高速道路大井松田 IC から約 20 分

※獣害防止のためゲートを閉じていますので、お越しの際はご自身で開閉をしてください。カーナビ等でルートを設定する場合、「県立 21 世紀の森」を目指して、施設付近になりましたら、設置看板を参考にお越しください。

※徒歩ルートは地域の方以外は車での進入ができません。車ルートからお越しください

＊公共交通機関の場合

伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」下車、駅前の箱根登山バス「関本」で乗車し「上庭」下車。

上庭バス停から徒歩約 15 分（バス本数が少ないのでご注意下さい）。または JR 山北駅から約 4 km、徒歩約 1 時間。